

筑波大学 社会・国際学群
国際総合学類

令和7年度 推薦入試

小論文試験問題

[注意事項]

1. 試験開始の合図があるまで、この問題の中を見てはいけません。
2. 問題には問1、問2があり、それぞれに設問が2つあります。すべての設問に解答してください。
3. 設問ごとにそれぞれ別の解答用紙を使用してください。
4. すべての解答用紙と下書き用紙の定められた欄に、「学群・学類」、「氏名」、「受験番号」を記入してください。
5. 解答用紙のマス目の上の に問題番号と設問番号を記入してください。

問 1

以下の文章を読んで、次の設問に日本語で答えなさい。

設問（1）と設問（2）は、それぞれ別の解答用紙を使用しなさい。

設問

（1）英文の内容を400字程度に要約しなさい。

（2）本文の内容を踏まえ、下線部に関するあなたの考えを600字程度で述べなさい。

（この部分は、著作権の都合により公開できません）

(この部分は、著作権の都合により公開できません)

*¹ chip away at (少しずつ壊す)

*² gridlock (行き詰まり)

出典：Council on Foreign Relations, “Laws, Norms, and Democratic Backsliding,” CFR Education, Global Matters, May, 2023 (<https://education.cfr.org/learn/reading/laws-norms-and-democratic-backsliding>) より抜粋。

なお、出題のため、修正を加えています。

問 2

以下の文章を読んで、次の設問に日本語で答えなさい。

設問（１）と設問（２）は、それぞれ別の解答用紙を使用しなさい。

設問

（１）文章の内容を４００字程度に要約しなさい。

（２）本文の内容を踏まえ、ナッジや義務化など政府が人々を特定の方角に導く様々なアプローチに関して、あなたの考えを６００字程度で述べなさい。

（この部分は、著作権の都合により公開できません）

(この部分は、著作権の都合により公開できません)

出典：キャス・サンスティーン著（田総恵子訳・坂井豊貴解説）『ナッジで、人を動かす——行動経済学の時代に政策はどうあるべきか』（NTT 出版、2020 年）10 頁、275-278 頁より抜粋。

なお、出題のため、縦書きを横書きにするなど、修正を加えています。